

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成22年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
高度レーダー雨量情報と分布型流出モデルを用いた河川水位・流量の実時間予測システムの開発(研究期間: H22年~H23年)	京都大学 立川 康人	A
<研究概要> 分布型流出モデルの大洪水への適用性を検討し、本研究で用いた分布型流出モデルの適用性を確認した。また、淀川流域(枚方上流域)を対象としてXバンドMPレーダーデータを入力とする分布型流出モデルを構築し、各種レーダー雨量データによって得られる計算流量の特性を分析した。この流量予測結果を水位予測に結び付けるために、粒子フィルタを用いた実時間水位予測システムを検討した。		
<事後評価コメント> 本研究では、XバンドMPレーダー、Cバンドレーダーのデータを用いた実時間洪水予測システムを構築を試みており、上記データが降雨観測、流出解析、水位予測の精度向上に有効活用できることを示している。以上から研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 今後は、誤差についての分析を行い、検討を深められることを期待したい。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い